



あさまる通信

第68号 平成19年3月

発行：習志野販売株式会社
〒275-0016
千葉県習志野市津田沼5-11-10 吉田ビル3F
TEL 047-454-2355 FAX 047-454-2357
URL <http://www.asamaru.com/>
e-mail info@asamaru.com

花粉の季節になりました。花粉症の方はご自愛下さい。

◆節分豆まき大会

2月4日(日) 袖ヶ浦西近隣公園

で、袖ヶ浦地域域年末年始実行委員会主催の「節分豆まき大会」が行われました。袖ヶ浦地域では、伝統行事を通じて子供たちに「ふるさと」を感じてもらおうと、年末年始に門松作りやどんど焼きなどを行って来ます。今年の節分は新しい試みとして、和太鼓そでつ鼓連の太鼓オペレッタ「鬼太郎の勇氣」が演じられました。企画と演出は袖ヶ浦で生まれ育ち、そでつ鼓連の青年部に所属している元吉未央さんが主になってあたりました。見物人に楽しんでもらえるように、午前中まで変更を重ねた作品だそうです。公園の広場にあるパーゴラに、164枚の手ぬぐいを縫い合わせた幕を張って舞台にみえます。



そでつ鼓連の笛と太鼓の前触れの音に誘われて、大勢の人が集まってきました。そして鬼の面をかぶった子供たちの勇壮な太鼓で太鼓オペレッタ「鬼太郎の勇氣」の幕が開けられました。



物語は次のような内容でした。

『鬼太郎は元々人間でした。しかし悪いことばかりしていたので、鬼になってしまったのです。そして「さほり鬼」や「うじうじ鬼」、「いじめん坊」などと一緒に、遊び暮らしていました。ある時、一筋の光のように笛の音が響き、鬼たちは苦しみました。笛は「白姫」と呼ばれる人間の心の中にある精霊の仕業でした。白姫は鬼たちに「本当にそのままでいいの？」と諭します。すると鬼たちは「本当は素直になりたい」「勇氣が欲しい」と改心します。それでも鬼太郎だけは反抗し続けます。白姫に「人にどう思われるかではなく、自分がどうしたいかが大切」と言われ、鬼太郎もついに改心しました。』

オペレッタの途中、鬼太郎が見ている子供たちに「葉をして、嘘をついたほうがいいよな!」と問いかけると、子供たちは「違う」「良くない」と答えます。改心をするのに、勇氣がないとか弱気になるかと「がんば

れ!」と声がかかりました。子供たちは鬼太郎たちに反面教師ぶりの、すっきり夢中になっていたようです。

オペレッタが終わると、いよいよ豆まきです。三中の生徒によるボランティアにより、あらかじめ配られていた豆で「鬼打ち」が行われました。鬼に扮した三中の生徒にめがけて、豆を投げます。「自分の心の鬼」を追い出したのです。そして初めての年男と年女を迎えた袖ヶ浦西小学校と袖ヶ浦東小学校の生徒4人ずつと、各学校の校長らが舞台から「福は内!」と福豆と福アメを投げると、大賑わいで拾う姿が見られました。実行委員会からは「太鼓オペレッタに大勢の子供たちが反応してくれて、よかったです。素直な心が伝わったように思います。今年で入居開始から40周年を迎える袖ヶ浦の若い世代に、この子供向け事業が引き継がれるのも嬉しいです」という声がかげられました。

あさまるinfo

◆睡眠時無呼吸症候群セミナー

～イビキを止めましょう 何かを起こす前に～
日時：3月3日(土) 午後2時～3時30分
場所：サンペデック4階多目的ホール
講師：千葉大学病院 呼吸器内科 巽浩一郎助教授
内容：睡眠時のイビキや無呼吸による「睡眠時無呼吸症候群」について、正しい知識を身につける講演会
参加費：無料(申込不要)
問合せ：津田沼中央総合病院 電話 047-476-5111(代)

◆谷津公民館チャリティバザー

日時：3月3日(土) 午後1時～3時
場所：谷津公民館
内容：バザー、本の読み聞かせ、風船おじさんと遊ぼう、パウンドケーキ販売、花の実園の鉢物販売
問合せ：谷津公民館 電話 047-452-1509

◆ならしの学校音楽祭'07

日時：3月11日(日) 開演 午後1時25分
場所：習志野文化ホール
内容：習志野市内の小中学校の管弦楽や吹奏楽などの発表会
入場料：無料
※満員の場合は入場できない場合あり
問合せ：青少年センター 047-452-0919

◆津田沼南口商店会 楽市フリーマーケット出店者募集

日時：3月18日(日) 午前10時～午後4時(雨天中止)
場所：津田沼公園2階園路(サンペデック)
募集数：40区画(飲食除く) 応募多数の場合は抽選
出店料：2,000円(1区画：2.5m×2m)
駐車場1台500円
申込先：(有)ベネフィット「楽市フリーマーケット係」
〒275-0016 習志野市津田沼5-2-29-102
電話 047-452-0160
申込方法：往復ハガキに住所・氏名・電話番号・FAX・主な出品物を明記して、上記の申込先まで郵送して下さい。
締切日：3月15日(木) 必着

◆チューリップ

今年はや暖冬のように、いつもより早く春を感じます。春に咲く花の中でも、代表的な花の一つに「チューリップ」があります。チューリップといえば、最初に想像するのは子供が赤いクレヨンで書く一重咲きのものが目に浮かびますが、今では八重咲き、フリンジ咲きなど数百種類もあるそうです。チューリップはオランダというイメージの方も少なくないでしょう。しかしチューリップの原産国は、イランやカザフスタンなど中央アジアなのです。ユリ科チューリップ属で、和名は鬱金香。チューリップは開花するとすぐに散ってしましますが、開花前に針で花の根元を貫通させて傷つけるとエチレンという物質が発生して、開花期間が長くなります。ただし開花後に同じことをすると、逆に開花期間が短くなるのでご注意ください。

愛らしい花ですが、花にまつわる話は悲しい伝説が多いようです。トルコ・ペルシャでは「ある村の青年が村長の娘と恋をしていたが村の井戸が枯れた時、青年は必死に井戸を掘って水を得た。しかしその頃には娘は死んでいた。悲しみのあまり崖から飛び降りた青年の血が真っ赤なチューリップになった」という話や、オランダでは「美しい娘が3人の騎士に求婚され、悩んだ娘は花の精霊にチューリップに姿を変えてもらった」という話があります。現実の話では1934年からの4年間に、オランダを中心にヨーロッパの上流階級でチューリップの人氣が高まり、チューリップの球根の為に資財を投げ出す人もいたという「チューリップ狂時代」というものもあります。いづれにしてもチューリップの魅力が伝える逸話となっています。

